

シルバー 古賀

第71号

令和6年1月発行

公益社団法人

古賀市シルバー人材センター



奉仕作業 10月28日(土)



地域班交流会(花見南・東)12月2日(土)



調理講習会 9月8日(金)



シルボンヌ全国大会2023in福岡11月29日(水)

発
行
者

(公社) 古賀市シルバー人材センター
広報委員会

古賀市千鳥2丁目21-3
TEL 942-6994
FAX 942-6902
URL <http://www.kogasc.com>

基
本
理
念

自
主

自分のものとして考える

共
働

共に力を合わせて働く

自
立

自分達の力で育て行動する

共
助

共に助け合う



役職員一同から新年のご挨拶

「今年もみんなで頑張るバイ」

会員並びに関係者の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素から当センターの事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、役職員一同厚くお礼を申し上げます。

近年、「人生100年時代」「生涯現役社会の実現」が叫ばれる中、シルバー人材センターの事業の果たす役割は大きなものがあり、地域社会からの期待はますます大きくなっています。一方で、センターを取り巻く社会的状況の変化によりセンターの運営環境も変化・対応を余儀なくされている現状もあります。このような中で、会員の皆様と役職員が一体となり、関係諸団体との連携のもと、センター事業の発展と皆様の「いきがい」を目指して努力して参りましょう。

今年も皆様にとって素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

理事・監事紹介



職員紹介



市長・議長表敬訪問



シルバースタ

古賀市社会福祉センター 「千鳥苑」11月18日(土)

初めて開催しました。

着物をリメイクする女性会員のグループ「芽ぶきの会」を中心に独自事業の出店をしました。

多数(約150名)のご来場を頂きありがとうございました。

特に「ファッションショー」は大好評でした。



シルバー農園野菜販売



ざとうきび絞り体験
黒砂糖販売



壺やきいも販売



刃物研ぎ



会場案内板



リメイク商品展示販売



ファッションショー



ファッションショー

元気で楽しかった !! 互助会活動



日帰り旅行 9月25日(月)



ウォーキング大会 11月25日(土)



スカットボール大会
9月30日(土)

みんなのひろば



佐伯会員

シルバー人材センターで「壺やきいも」販売を発足の際にご指名を頂き、3代のパートナーが替わる中、私は替わらず続けさせて頂いています「佐伯(90歳)です」。この間、良きパートナーと事務局に恵まれて参りました。

お客様と笑顔の交換ができるようパートナーと美味しく焼き上げて、一人でも多くの壺やきいも同好者に購入して頂きますように頑張っていると考えております。お客様から「美味しかったよ」と声をかけて頂いた時の喜びは、何にも代えがたいものがあります。今後も工夫を重ね美味しい「壺やきいも」をお渡りするよう頑張ります。

福岡県シルバー人材センター連合会 安全就業促進大会



7月24日(月)に開催されました。

第10回安全大会



10月11日(水)に千鳥苑で開催されました。

シルボンヌ全国大会 2023in 福岡開催

全シ協が主催する「シルボンヌ全国大会」が、11月29日(水)福岡県で開催されました。これは、女性会員を主役とする趣旨で開催されたもので、当センターは芽ぶきの会から6名、理事・職員2名で参加をしました。芽ぶきの会の6名は、ステージ上での「ファッションショー」に臨み大喝采を浴びました。

配分金の確定申告について

◆配分金の支払い証明書(※)・雑所得(当センターより郵送します。)

◆源泉徴収票・・・・・・・・・・給与所得(派遣就業の会員には、連合会より届きます。)

※配分金収入は、所得税法上雑所得に区分され55万円まで控除されます。昨年1年間の配分金支払い総額が55万円以上の場合は、確定申告をする必要があります。

パソコンで頭のトレーニングはいかが？

毎週火曜日と木曜日 10時から15時30分迄パソコン教室を開いています。

見学OKです、パソコンを持っていなくても受講できます。当センターに問い合わせてください。

新職員紹介



昨年8月からシルバー人材センター会員の皆様と楽しく仕事をさせて頂いております。後藤哲夫です。よろしくお願い致します。

編集後記

暑く厚く長〜い夏、あっという間の短い秋、そして季節外れの11月寒波。そんな異常気象に振りまわされた昨年でした。世界各地で発生している災害、その波が日本にもやって来るのでしょうか。日本特有の四季が崩れ、野山の草木や日本人の心を育んだ自然が少しずつ消えるかもしれません。コロナウイルスに対応してきたように世界の国々のひとりひとりが自覚をもって生活することが大切ではないでしょうか。今年は微力かもしれませんが少し意識して過ごして参りたいと思っています。 K.Y